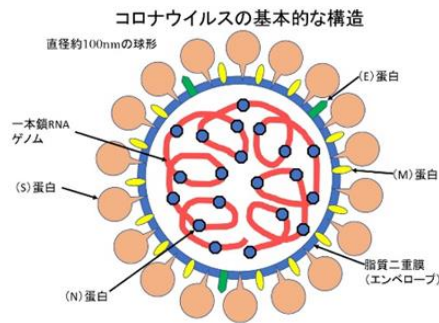


音吉な皆さま、**こんにちは。** 人生ってつくづく何があるかわかんないですね。  
2年前に清水の舞台から飛び降りるような気持ちでした転職。二年経ってようやく少し慣れてきたかな、採算も何とか、というタイミングでこの新人ウイルス「**COVID-19**」



。3月中旬ごろから急にお客様の入りがおかしい、と思  
ったらパンデミック。4月、5月は緊急事態宣言もあり全日休業。4月に迎える二周年に向  
けて入念な準備を重ねていましたので日々、戸惑い、心折れる毎日でした。ようやく6月1  
日(月)から営業を再開できることになりました。そう、うちは飲食業だからです^^;。ジャズ



喫茶&BAR、オーディオ喫茶&BAR、ライブ喫茶&BAR です。ちゃんと定  
款にもそう書いてあります。所轄は保健所です(笑)。

とはいえ、飲食業ですから感染やクラスターにならないように様々な手を打ちました。

- ①席数を当面 25 席から 9 席に削減します (ソロの場合は 12 席)
- ②隣り合う席に座らないように席を間引きしてできるだけ密着が少なくなるようにします
- ③清掃と除菌を徹底します。入り口・洗面台・厨房等にアルコール除菌グッズを配置して  
おります。お客様におかれましても積極的にご利用ください。
- ④従業員はマスクをし、手洗いとうがいを徹底します。体温が 37 度を超える場合出勤を停  
止します。お客様も入り口で非接触型の体温計で検温にご協力ください。37.5 度を超える  
場合、入場していただけなくなります。また部屋の中ではできるだけマスクを着用ください。
- ⑤当面の間ライブの時間を短縮します。(60 分、30 分休憩、60 分)を目安ですが、  
(50 分、20 分休憩、50 分)とします。21 時半には終演、22 時には閉店とします。
- ⑥換気に関してはライブ前、休憩中、ライブ後に入り口ドアを開放します。

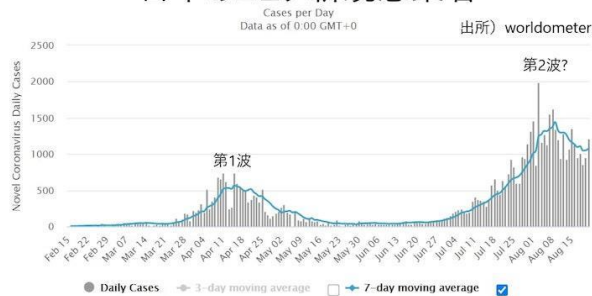
以上大変にご面倒ですが、よろしくお願ひします。

<m( \_ \_ )m>

6月号にこう書いて再スタートを切りました。

6月は順調に新規感染者が減り、この厄災もようやく終わり、お客様の足も7~8割方、戻ってきたように思えたのですが。いつの間に、100→200→300と東京都の新規の患者数は増

## 日本のコロナ新規感染者



え続け、ようやく最近、実は「第二波」

あったと認定された次第。8月の売り上げは通常月の6割に落ち込みました。

手をこまねいている暇はありません。進出をためらっていた「同時配信ライブ」に乗り出し



ました。若者 YouTuber 君に協力をお願いし、機材や配信を一から習いました。8月までに約30本の配信を行いました。助かった、このタイミングでやってよかった。「ライブに行くのは、無理・難しい」お客様を同時配信で何とか引き止めることができました。

実は二か月間音吉通信を出せなかったのも、この配信に全力を注いでいたからです。

全く新しいこと、知識はゼロから、ノウハウはむしろマイナスからのスタート。へとへとに疲れ切りました。相次ぐトラブル、ミス、それを起因とするプレッシャー。現在ではようやく一人ですべて切り盛りできるようになりました。ここまできるとより良い音



質・画質をなどと画策しております。

ライブも毎日、提供しています。ミュージシャンにとっても、集客は非常に難しい状況でお店もそのバックアップに全力を尽くすことはできませんでした。無理に勧誘を続けてもいずれ立ち行かなくなります。ひたすら耐える日々が続いております。国や都の協力金、家賃保証、クラウドファンディングが大きかった。これらがゼロでしたら今事白旗を上げる羽目



になっていたかもしれません。特にクラウドは大きかった。ミュージシャン支援

も原資は少なくなってきましたが続けています。

新たな事態に馴れることが求められています。狭いスペースに定員いっぱいの人を入れて、



というビジネススタイルはもはや望むべくもありません。現在は緊急対応で 9 席ですが、このままでは店を続けることはできません。満杯で 15 席程度が限界でしょう。このお客様の数で店を何とか続けるためには、配信やグッズの販売といった新しい事態への対応が求められています。

もちろん、最大の戦略は優れたミュージシャンをブッキングすることです。6 月からは、山本剛トリオ、向井滋春さんや本多俊之さん、といったビッグネームにもどんどんご出演頂いております。多くの方が夜の街(?)やライブハウスに行くことに抵抗がなくなるまでは厳しい日々が続くかと思いますが、私だけが困っているわけではありません。日本中が同じです。

でも、文化としてのジャズのライブハウスを吉祥寺に残すことに全力を尽くします。文化というのはそういうものだと思います。やせ我慢をしても頑張ります。実は最近好きなテニスをした後にこれまで感じなかった疲労を感じる事が少なくないのです。加齢による衰えでしょうか。こんなことは感じなかったのですが、残念ながら事実です。でも、頑張ります



よ。人生最後の仕事でしょう。もう一花咲かせて見せます。

6 月 1 日にライブハウスを再開した時にピアノの一音を聞いた瞬間に涙が出そうになりました「やっぱり生は素晴らしい！」オーディオとも違いますし、配信とも違う。それに今さらながら気づかされました。でも配信チケットも買ってください(笑)。

これからもどうぞごひいきに、お願いします。応援をよろしくお願いします。

2020 年 9 月 6 日 「音吉!MEG」店主 柳本 栞